

地区聞き取り活動「もののぐ」【物の具】とは？

山梨市地域おこし協力隊では、「地区」と「道具」に注目した「もののぐ【物の具】」というインタビュー活動を始めました。

もののぐ【物の具】と題したこの活動には、4つの思いが込められています。

『4つの思い』

1. 市外の人に山梨市のより細かい魅力を伝えたい
2. 市民の人に日常生活では関わりの低い地区への興味を持ってもらいたい
3. 地域おこし協力隊として地区単位の特色を知ること、山梨市をもっと知りたい
4. 地域おこし協力隊を地区の人に知ってもらいたい

なぜ、聞き取り活動をするにあたって、「地区」に注目したのか？

山梨市に移り住んでみると、旧三市町村だけではなく、「○○地区」というさらに細かい単位においても地域性が語られていることに気付きました。「区」「市」「駅」を地域性表現の単位として使ってきた身としては、「地区」とはなんぞや」という疑問がわくとともに、「地区」を知ることが山梨市を良く知るための近道なのではとも考えるに至ったのです。

これは、山梨市が標高差200メートル以上もある自然環境の差異をベースにしていることと無関係ではなく、その中で形成されている「地区」単位での暮らしが多種多様であることと密接に結びついていると思えました。また意外にも、市民の人において、山梨市内の中でも行ったことがない地区が多数あるということも分かってきました。

そこで、一度「地区」単位で山梨市を掘り下げてみることで、山梨市を上手に掴むヒントが生まれるのではないかと思い「地区」単位での聞き取り活動を試してみようと考えました。

なぜ、もののぐ【物の具】と題したのか？

「もののぐ」とは道具の古語です。

地区に暮らす人それぞれは、それぞれその経歴は多種多様です。

地区にずっと住んできた人もいれば、幾つかの場所を移りながら現在住んでいる地区にたどり着いた人もいて、こだわりやポリシーも異なっています。

一方で、地区での暮らしや産業は、地区ごと、それぞれの自然環境を基にして、人が自然環境に働きかけることで成り立ってきました。

人と自然環境を結びつけるものこそが「道具」なのです。

このような意味での「道具」に着目することで、「地区」の特色を描き出すことを考え、聞き取り活動『もののぐ【物の具】』を始めました。

【地区】

